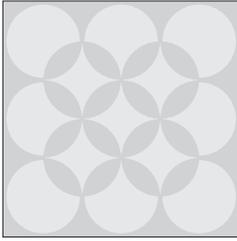


仕事の常識・定石再入門





はじめに

基本をおさえて、 希望を持って仕事をしよう

毎日何を思って通勤していますか？ いま働いている会社のことをどれくらい知っていますか？

会社に就職するときには、働くことって何だろう？ 何のために働くのだろう？と自問自答したかたも多いかもしれません。

現在、このテキストを手にとっている方々は、会社で働いている方々です。それでは、なぜその会社で働いているのでしょうか。就職活動中は、会社の案内を取り寄せたり、インターネットで検索して、何をしている会社なのか、理念は何なのかなどを調べたり、社長のメッセージを読んだり、説明会に行ったり、様々な手段を使って会社の情報を集めたと思います。

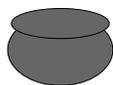
しかし、仕事に就くと、実際に日々の業務を行う中では、会社とは何か、組織で働くとはどういうことか、ビジネスパーソンとはどうあるべきか、あまり考えることはなくなっているかもしれません。

本講座は、会社に関する基本的な概念や用語を、わかりやすく簡潔に説明し、関連した問題を解くことで知識を身につけることをねらいとしています。また、実際にビジネスパーソンとして、どのような行動が望まれるのか、内面だけでなく身だしなみやマナーまで確認していきます。

さらに、現在の仕事が会社の中ではどのような位置にあるものなのか、どのような意味を持っているのか、社会にとってはどのような意味を持つものなのかを確認することで、将来どのように働きたいのかを考えることにもつながります。

ここで会社の常識・仕事の定石を再確認して、毎日、自信を持って、生き活きと仕事をしましょう。





CONTENTS

仕事の常識・定石再入門

はじめに	3
学習のすすめ方	5
第1章 経営とは——会社・組織・仕事の常識	
(1) 優れた会社は何を目指しているのか	7
(2) 会社を取り巻く重要な関係者とは	11
(3) 変わる会社のあり方と組織のあり方	15
(4) 上位方針・職場目標の理解と個人の目標設定	19
(5) ビジネス実務の基本を確かめよう	23
第2章 ビジネスマナーは一生の財産	
(1) これだけはおさえよう ビジネスマナーの基本	27
(2) キメるときはキメよう ビジネスパーソンの身だしなみ	31
(3) 会社の顔になろう	35
(4) ナチュラルに使おう——敬語の使い方①	39
(5) もうためらわない——敬語の使い方②	43
第3章 実務の常識・仕事のすすめ方の定石	
(1) 先手必勝 ～入社前にチェックしよう～	47
(2) 仕事はチームワークですすめよう	51
(3) 日常業務を円滑にすすめよう	55
(4) 自己完結する仕事をしよう	59
(5) 一歩先を読んで仕事をしよう	63
第4章 次のステップにすすもう ～プロを目指して～	
(1) いま自分はどの位置にいるのか	67
(2) おカネの管理はビジネスの基本	71
(3) 強い製品を早く・安くつくりたい	75
(4) 魅力ある商品を生み出したい	79
(5) 商品とお客様を引き合わせたい	83

学習のすすめ方

このテキストは、全4章がそれぞれ5節で構成されています。各節でタイトルの内容を説明したあと、10題の確認問題があります。つまり、全部で200題の問題がつまっています。

これらは、はじめに説明した内容をより詳しく説明するための問題です。概要を頭に入れてから、問題を解いてください。

問題には重要な考え方やキーワードが含まれているので、よく考えて解答してください。問題の次のページには、解答と解説があります。ご自身の解答を確認しながら、解説の意味を理解し、身につけるようにしてください。



みんなの常識 わたしの常識

それって、キャリア・アップ?? キャリア・ダウン??

「もっとキャリア・アップしたいんです……」

キャリアカウンセリングの現場で、よく耳にする言葉です。

「何かこうしたいとか、行動しようと考えている？」と聞いてみると、

「うちの会社は居心地いいんですけど、ポストが少ないから昇格はのぞめないんです。やっぱり会社に入ったら出世しないと……」

「将来結婚して家庭を持っても働きたいから、それにはやっぱり、いまから資格をとって専門スキルを身につけておかないと……」

「もっと年収を上げたいから、転職も視野に入れて考えようかと……」

などなど、いろいろな答えが返ってきます。

その人によって、キャリア・アップの意味や価値は違うのです。昇進や資格取得、年収アップを望み、手に入れることができた人にとってキャリア・アップといえることも、それを望んでいない人にとっては、キャリア・アップではないのです。年収がアップして仕事が忙しくなるよりも、いまのままで、プライベートの時間、家族との時間を大切にしたいという人もいます。

キャリアはアップ、ダウンではなく、仕事を含めて自分の生き方をどうデザインするかです。ただ何十年分も一度にデザインするのは難しいものです。節目、節目でデザインして、ときにはビジョンの修正が必要になります。



第1章

経営とは ——会社・組織・仕事の常識

1 優れた会社は 何を目指しているのか

会社が何を目指しているのかを理解して働くことは、私たちの日々の業務での迷いを取り去る助けになります。「なぜ会社はこの判断をしたのだろうか」、「上司の指示は何にもとづいているのだろうか」。このような疑問にぶつかったときに、まずは、会社の目指すところに立ち返りましょう。

会社の目指すところ

会社がどのような方向性を目指しているのか、その手がかりとなるのが以下の3つです。

- 経営理念……経営活動のよりどころや指針となるものです。会社のビジョンやミッション、バリューなどを表します。
- 経営目的……経営活動のゴール（成果）であり、経営理念を具体化したものです。
- 経営方針……経営目的を実現するための、具体的な方向性を示したものです。

◆会社の本質◆

- 継続性（ゴーイングコンサーン）
- 営利追求・合理追求
- 主体性（トップマネジメント）
- 人間性の尊重
- 社会的責任
- 安全性の確保

問題

- ① 会社の目的や個人との関係について妥当とはいえないものはどれですか？
- ア. 会社では働く一人ひとりが稼ぐ力を発揮しなければならない
 - イ. 会社は独自の使命と価値観を、商品やサービスを通して市場で表現している
 - ウ. 会社の目的は利益の追求であり、自己の利益のためのみに活動している
 - エ. 個人は会社の存在意義を自己の仕事のやりがいに結びつけて仕事をする
- ② 会社の目的や使命として、一般的に妥当とはいえないものはどれですか？
- ア. 事業を通じて利益をあげ、それを商品やサービス、従業員への給料、納税などのかたちで、社会に還元する
 - イ. 出資している株主に対して、配当などのかたちで応える
 - ウ. 雇用を生み出し、従業員の生活、やりがいを提供する
 - エ. 会社の存続が最大の目的であり、売上増大・コスト削減はすべてに優先する
- ③ 会社を経営していく方向づけとして、一般的に妥当とはいえないものはどれですか？
- ア. 経営目標は、具体的な数値で示せる目標のみを設定する
 - イ. 経営方針は、経営目的を実現するための具体的な方向性のことである
 - ウ. 経営理念は、会社のビジョン、ミッション、バリューを表している
 - エ. 経営目的は、経営活動の成果であり、経営理念を具体化したものである
- ④ 会社のビジョン、ミッション、バリューとして、一般的に妥当なものはどれですか？
- ア. この3つはそれぞれが独立しているので、関連づけて考える必要はない
 - イ. この3つは、経営層のみが経営の指針として肝に銘じておく必要がある
 - ウ. この3つの観点にもとづいて行動することがすべての従業員に求められる
 - エ. この3つは、社内に周知するもので、社外に発信する必要はない
- ⑤ 会社の社会的責任（CSR）として、妥当とはいえないものはどれですか？
- ア. 経営層だけでなく、その会社で働くすべての人の考え方を一致させる必要がある
 - イ. 経営活動を持続的に行ううえで、CSRの取り組みは重要である
 - ウ. 法律や各種規制を守ることで、会社のCSRを果たすことができる
 - エ. CSRの取り組みを強化することで、会社の信頼性・競争力の向上に寄与する

Keywords ●●

・VMV ・CSR ・コンプライアンス ・IR